

日本共産党岡山市議団 岡山市政ニュース NO.202 2003年6月29日発行

第1面

発行者 日本共産党岡山市議会議員団
岡山市大供1丁目1番1号(市議会内)
〒700-8544 電話(086)803-1000 内線 4370・4371
田畑賢司 崎本敏子 竹永光恵 藤沢和弥 稲葉泰子

No.202 (通210) 岡山市政ニュース(1) 2003年6月29日(日)

市民の願いが前進
6月定例会市議会はじまる

子育て支援 一歩前進!

保育料 第三子以降は無料-----六月議会で実現-----

党市議団が以前から第三子以降の無料化を求めて取り組んで来ました。

軽度発達障害児支援が前進

LD、ADHD児、アスペルガー症候群などの子どもたちに対する支援の制度化を、「親の会」の皆さんとともに要求していましたが、この議会で相談員の増員が予算化され、学校と家庭への訪問相談が開始されることになりました。

父子家庭へも支援拡大

今までの「母子家庭医療費公費負担補助制度」の対象者に、所得税非課税の父及び児童が加えられることになりました。

市民病院の小児救急医療受け入れが始まる

小児科不足、小児救急医療への不安の声が高まっています。

そこで市民病院では休日夜間救急時間の受け入れが始まるまでの、午後五時から八時まで小児科外来の診療時間を延長しました。

また、保健所でも、一歳六ヶ月児健康審査の未受診者対策として二ヶ月に一度、日曜検

診も実施することになりました。子育て支援 一歩前進！

乳幼児医療費無料化の年齢拡大へ

市長が審議会へ諮問

岡山市長は、乳幼児医療費無料化の年齢拡大について、六月二日、総合政策審議会へ諮問しました。しかし、二市二町の合併を視野に入れて、平成一七年度までに答申という内容です。

党岡山市議団は、「県下ワーストワン」の岡山市の汚名を返上すべく、一日も早い改善を目指しがんばります。

入札制度の改善

この間、わが党市議団は、入札制度改善にむけて、政策提案をして頑張ってきました。現在、一般競争入札を原則にして、八千万円以上の工事については最低制限価格をはずして郵便入札を実施しています。

この度、暴力団排除をいっそう強化するとともに、実質的に最低制限価格を予定価格の五〇%以上にするなどの改善をはかることになりました。

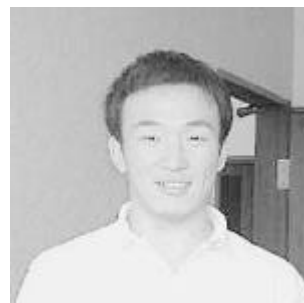
合併・政令市は拙速に結論づけるな！

玉野市と灘崎町、瀬戸町、御津町と合併して人口七〇万人の政令市をめざす方向がこの間県南政令市構想研究会で議論されてきました。中間報告では「条件が整えば合併を前提とした、法定協議会の設置を」とまとめています。しかし、北部研究会から瀬戸町が脱退し、また玉野市のアンケート結果なども考慮して、法定協議会の設置は今時点では困難となっています。しかし岡山市は六月議会終了後、任意の協議会をたちあげることを発表しました。この中身は議会の代表もいれたものということで法定協議会とかわりません。合併の是非を問う協議会ではなく、合併の準備をするための協議会です。

党市議団は、市民にしっかり情報公開をし、議論する場の設定をと、各中学校区での広聴会や住民投票の提案をして、拙速に結論づけるなど、運動をすすめています。

ひと

岡山中央福祉会「友の会」事務局長
国塩 聖和（きよかず）さん（30才）
地域ネットワークで福祉の街づくりを



西大寺を中心に事業展開をしている岡山中央福祉会が「友の会」を結成。高齢者の方々が人生最後まですみなれた街で安心してすごせるために、地域との連携で、福祉の街づくりをめざしています。

「一人であきらめないで、友の会でともに要求の実現を！会員は今年度中に三〇〇人に」と抱負を語る国塩さん。

裸まつり大好き青年は、「来年こそ宝木を」と筋トレ中です。地域ネットワークで

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/jcpoka/okym/> メールアドレス
kyousantou_shigidan@city_okayama.okayama.jp

第2面

市政ニュース 2003年6月29日（日）No.202（通210） （2）

6月議会の問題点

市民の暮らしや教育はどうなる？

二〇〇四年度から下水道使用料値上げ!?

岡山市総合政策審議会の答申を受け、岡山市長は、来年度実施を目途に下水道使用料の値上げを検討すると表明しました。

一方、昨年度実施された包括外部監査は「合理化特別措置法」に基づく代替業務委託に問題ありとの報告を出しました。代替業務委託は下水道整備に伴い、し尿処理業者が著しい影響をうけた場合にその影響を緩和することと、廃棄物の適正な処理をすすめるために、国が制度化したものです。

党岡山市議団は下水道料金の値上げ検討にあたっては、し尿処理業者や協同組合岡山

市環境整備協会への委託の実態を明らかにすること 妥当な税金の投入かどうかチェックすることなど市民の立場から深めていく決意です。

同時に、市民の大きな願いである汚水処理整備率の向上や、市民負担をできるだけ軽減させるためがんばっていきます。

「通学区域弾力化」で学校選択が自由になるか!?

市教育委員会は、特色ある教育の充実をめざすとして、通学区域制度を変更しようとしています。すでに、二〇〇一年から市内中心部では実施されていますが、これを全市域に広げようというものです。岡山市教育行政審議会の中に「岡山市通学区域制度弾力化検討委員会」を設置し、今年二月～三月に児童・保護者・教職員・市民など一万五千人を対象にアンケートが実施されました。

その結果、教育委員会は市民の同意を得られたと判断し、二〇〇五年度実施の方向です。しかし、アンケートでは賛否が相半ばするという状況です。

教育基本法を大きく変えようと、中央教育審議会の答申が発表されたことと併せて考えると、このことによって子ども同士のふれあいが希薄になり、学校間競争が起こるのではないかと懸念されます。

もう少し時間をかけて、子どもの立場で学区を考えることが必要ではないでしょうか。

市民本位の議会改革を

新しい議会のもと、「議会改革調査特別委員会」が設置され初めての会議が開かれました。

市議会機能の充実や向上、市民に開かれた議会としての会議の持ち方や情報公開など、市民本位の議会運営について議論がなされました。

特に議員一人あたり七五万円の予算が計上されている海外研修視察費については、同規模の市議会の実態も調査し、見直しを検討することにしました。

党市議団は、会派に出されている政務調査費の用途の公表、委員会や本会議傍聴者への資料配布、本会議場への車椅子での傍聴改善などについて提案しています。

市民本位の議会改革をすすめるためがんばります。

5月臨時議会 初の議長選挙 6人が立候補 本会議場で所信を表明

五月一日～一七日の三日間にわたって、岡山市の臨時議会が開かれ、新しい体制がスタートしました。

党市議団は、議長・副議長選挙で、「議会改革の協定書」(議会の民主的運営とチェック機能の強化 情報

公開の徹底（海外研修視察費の削減の三項目）を提示し選挙にのぞみました。

また、会派代表者会議でリーダーシップを発揮し、岡山市議会始まって以来の立候補制と所信表明演説を実現させたことは、画期的な事でした。また、一致する課題での共闘を重視した結果、委員長一、副委員長二のポストも獲得。議会の中で、より市民の声を届ける力を大きくすることができました。

さっそく新しい体制で、民主団体懇談会を開催し、市民の声を聞き届ける努力を始めました。参加者からは「初めての経済委員長ポストに期待する。農業・商業ともに頑張ろう」との声が出されました。

市議団所属委員会と任務分担

田畑賢司〔団 長〕総務委員会、議会運営委員会、広域行政及び政令指定都市調査特別委員会

崎本敏子〔幹事長〕経済委員会（委員長）、岡山国体・スポーツ振興調査特別委員会

竹永光恵〔副幹事長〕保健福祉委員会・広域行政及び政令指定都市調査特別委員会

藤沢和弥〔副団長〕環境消防水道委員会（副委員長）、議会改革調査特別委員会

稲葉泰子〔学 習〕文教委員会、社会システム調査特別委員会（副委員長）

編集後記

五月から五人の市議団で頑張っています。五二人中五人というのは議席占有率では過去最高です。これを力に、これからもみなさんと力を合わせて要求実現をと、一同はりきっています。また余談ですが、控え室も広くなりました、ぜひ、お近くにおいでの際はお立寄りください。